

## 編集後記

With コロナの新常態の中、在宅勤務、遠隔授業が日常的に行われている。上梓することができた第79巻第5号の小児保健研究の主な話題は小児在宅医療と災害である。災害の発生は短期間に終わるが、災害からのレジリエンスには長期間を要し、家庭の役割が重要である。従来の家庭の概念は家族構成（人）と生活の場（自宅）という二つの要素からなる。日本における第1波の新型コロナウイルス感染症対策の“謎”の成功の要素の一つは核家族とひ

とり暮らし（独居）の世帯が多いからと言われた。今は家庭の場（自宅）に生活のほか、ケア、医療、学習と仕事といった新しい機能が付与されたが、家庭内の家族構成が変化し、家族の人数が少なくなっている。いざというときに支えてくれるのは地域の人ではないかと、在宅の機能の多様化と家族構成のアンバランスの状況について、考えさせられたこの時世である。

（顧 艶紅）

### 編集業務に関するお知らせ

「小児保健研究」等の原稿の投稿や編集に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒160-8306 東京都新宿区西新宿5丁目25番11号 (株)日本小児医事出版社内 「小児保健研究」編集部

TEL: 03-5388-6008 (小児保健研究専用) FAX: 03-5388-5193 E-mail: shounihoken@viola.ocn.ne.jp

公益社団法人日本小児保健協会 日本小児保健協会ホームページアドレス <http://www.jschild.or.jp/>  
E-mail: jsch-soc@umin.ac.jp  
小児保健研究 第79巻 第5号

発行所 公益社団法人日本小児保健協会  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12-1  
トナカイ神田タワー9階  
TEL: 03(3868)3093 FAX: 03(3868)3092

2020年9月30日 発行

発行人 小枝達也  
編集代表 堀口寿広  
編集業務 (株)日本小児医事出版社